



15回の歴史がある「全国雑木林会議」だが、埼玉県での開催は今回が初めてとは意外だ。実は6年前にてんたの会へ打診があったのだが、その当時にてんたの会は、開発事業者・行政とは対立関係真っ只中！とても飯能で全国大会を行う状況ではなかった。が、現在は市民、行政、事業者が協働して環境保全に取り組むという理想的な状況が生まれている。開発優先から環境の時代へと世の中が大きく変化した。この地で開催される第16回全国雑木林会議はとても象徴的だ。そのテーマは「原点回帰……」自然（森林）と共に在る暮らしをもう一度見つめ直してみよう。（浅野正敏）

やませみ 53

発行日/2008年10月1日
編集・発行/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会
事務局/TEL042-974-1691(浅野正敏)
埼玉県飯能市柳町18-17

- 申し込み用紙や機関誌「やませみ」は「銀河堂」「Café豆さる」にあります。
- 「やませみ」へのご意見をお寄せください。投稿もお待ちしています。
URL=<http://www.tenranzan.com/>
E-mail=tenta@tenranzan.com

会員募集中!!

1995年2月、巨大住宅団地開発の計画がきっかけで発足した「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を続けています。どうぞあなたも会員になって活動を支えてください。

- *年会費
- 正会員……………普通会員 2,000円
特別会員10,000円
 - 賛助会員……………1口10,000円
- *会費・カンパ送り先
郵便振替口座「NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会」00580-9-16342

日よう日ふる里散歩

当会では天覧山周辺の自然に親しんでいただくために毎月「ふる里散歩」を開催しています。お気軽にご参加下さい。

- ◆10月18日(土)
「雑木林会議エコツアー」昼食付き
集合/飯能駅北口午前9時半
★申込みが必要です。(先着15名)
問合せ/てんたの会 042-974-1691(浅野)
持ち物/飲み物・歩きやすい服装
参加費/1000円 ★小雨決行
※主催:雑木林会議実行委員会

- ◆11月8日(土)
「谷津田の水辺づくりエコツアー」昼食付き
集合/飯能駅改札口午前9時半
★申込みが必要です。(先着15名)
申込先/てんたの会 042-974-1691(浅野)
持ち物/飲み物・汚れてもよい服装
参加費2000円(子ども500円)★雨天中止
※主催:てんたの会

- ◆12月14日(日)
「里山のリース作りエコツアー」
集合/飯能市郷土館 午前9時半
★申込みが必要です。(先着15名)
申込先/てんたの会 042-974-1691(浅野)
持ち物/飲み物・お弁当
参加費/1000円(子ども500円)
午前中山歩き、昼食後にクリスマスリース作りを行います。
※主催:てんたの会

- ◆2009年1月1日(火)
「初日に祈る山歩き」の巻
集合/能仁寺山門前 午前6時15分
参加費/無料
※主催:てんたの会
共催:はんのう景観トラスト、(財)埼玉県生態系保護協会飯能名栗支部



NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報

No. 53
2008.10.1

やませみ



もくじ

- 特集「全国雑木林会議」の舞台・天覧山・多峯主山の自然 /文・黒住浩次(てんたの会 会員) 写真・大石 章、市川和男、調査委員会
- 天覧山・多峯主山の歴史/浅野正敏(てんたの会 代表)
- 環境省モニタリング1000調査報告/大石 章(てんたの会 会員)
- やませみ掲示板
- 鳥瞰図、てんた里山基金寄付のお願い
- 日よう日ふる里散歩のおしらせ
- 編集後記



※当会のホームページアドレスです。どうぞおいでください!

<http://www.tenranzan.com/>

今こんな調査をしています。



モニタリング1000調査は、環境省が全国1000ヶ所で生態系の長期推移(100年間)を把握するために行っている調査です。天覧山・多峯主山は、このうち200ヶ所の里地里山サイトのひとつに選定されました。県の「彩の国みどり基金」の助成を受けることも決まりました。

当サイトでは、植物、チョウ、カヤネズミ、ホタル、カエルの調査を行う予定です。植物とチョウは今年9月から調査を開始しました。植物は毎月11日13時から、チョウは毎月第1土曜日10時から、能仁寺山門に集合し、2時間程度調査を行います(天候等により変更有り)。詳細は当会ホームページでご確認ください。

今後100年間の調査ですから、将来

調査を引き継いでくれる子どもたちにも参加してもらい、調査員を育成して行こうと思います。専門家でないでも可能なように工夫された調査で、動植物の名前をおぼえたい人も是非ご参加ください。

連絡先: 大石章 (ezh01701@nifty.com)



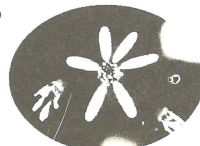
9月23日、本調査で、南国のチョウ「アカボシゴマダラ」を初確認!



イボクサ: 池のふちで咲いていた。湿った場所を好み田んぼによく生えるので稲作では嫌われる、この草の汁をイボに付けると取れるとされてこの名が付いたとのこと。花は1日でしぼむ。

お伝えしてます。東谷津レポート

天覧山・多峯主山の自然を守る会のホームページで、会員の山梨さんが写真と文章で連載しています。道の傍らにひっそりと咲く花、珍しい動植物、新鮮な驚きと優しいまなざしでレポートされるたくさんの報告の中から、今回はちょっとご紹介しします。ホームページでは随時谷津田レポートを更新していますので、こちらも合わせてご覧下さい。http://www.tenranzan.com/



シラヤマギク: 花びらが少なく散ったようにみえるが、左右のつぼみを見た通りこれが本来の花である。

天覧山・多峯主山の歴史

- 1735年● 飯能出身で沼田城主となった黒田直邦公が没し、多峯主山山頂に葬られる。
- 1883年● 明治天皇の大演習で、愛宕山(羅漢山)が天覧山と改名。
- 1912年● 日本初の林学博士、本多静六による飯能遊覧地事業が始まる。
- 1922年● 「天覧山の勝」が埼玉県文化財指定第1号となる。
- 1951年● 西武鉄道、天覧山・多峯主山から宮沢湖一帯の観光開発計画として「関東宝塚構想」を打ち出す。
- 1976年● 100haに及ぶ天覧山周辺に住宅団地開発の事業計画が出される。
- 1977年● 全国に先がけた自然環境保全の市民運動で請願等が行われる。
- 1978年● 運動の結果、24haの緑地を残すことで決着。76haは市街化区域に。以後、開発は手付かずに。
- 1995年● 西武より24haの緑地開発も含めた新たな住宅団地開発の事業申請。新たに市民運動が発足(現在のてんたの会)。直接請求として署名活動を展開。
- 1996年● 直接請求は市議会で否決。予定地内でのオオタカの営巣確認で事業着手は延期となり、再交渉を開始。
- 1998年● てんたの会、天覧山裏の東谷津の一面で休耕田の整備活動を開始。
- 2001年● てんたの会、天覧山・多峯主山一帯の詳細な自然環境調査報告書を作成。
- 2005年● 西武鉄道、飯能市に開発事業計画中止の申し入れ。
- 2007年● はんのう市民環境会議、天覧山谷津の休耕田の保全再生に着手。
- 2008年● 飯能市、天覧山から多峯主山一帯97haを景観緑地に指定し、保全計画策定のための環境調査実施。西武鉄道、社会・環境貢献緑地評価システム認証を取得し、所有の77haを良好な緑地として整備していくことを表明。

このような劇的な歴史を経過し、現在は市民と行政と事業者が同じテーブルについて、現在まで残されたすばらしい環境を守るために、この地とどのように関わっていくかの話し合いを進めようとしています。

文: 浅野正敏(てんたの会 代表)

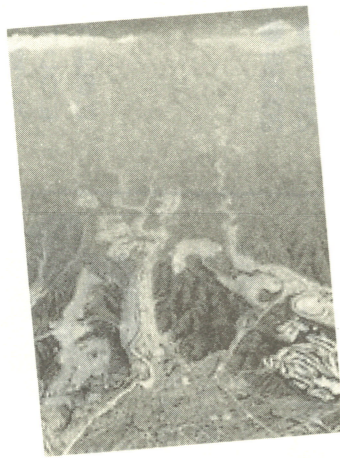


「奥武蔵鳥瞰図」
「てんた里山基金」にご協力ください。

パノラマ風景画家、友利宇景氏制作による「奥武蔵鳥瞰図」ができました。名栗湖を通過して飯能市内を流れる名栗川と、巾着田に注ぐ高麗川の流れに挟まれて秩父へと続く山々が、飯能上空から一望するように描かれています。飯能の街のようすや、歩いた山の位置などをもう一度確かめてみませんか。

飯能市内の「めいわどう」(TEL042-972-2010)「宮脇書店」(TEL042-973-8254)などで販売しています。

郵送ご希望の方は10枚まで送料800円でお送りします。郵便振替での入金確認次第発送します。下記振り込み口座へ「鳥瞰図何枚希望」と明記の上ご送金ください。



てんた里山基金寄付として
1部1000円

(B2版/タテ728mm ×ヨコ515mm)
*寄付金はすべて当会の自然環境保全のための活動資金に充てられます。

「てんた里山基金」郵便振替口座
.....
名称/NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会
口座番号/00580-9-16342

「てんた里山基金」とは?

てんたの会では天覧山北東側にある谷津田「東やつ」を買収して、里山環境の保護活動を実践して行こうというナショナルトラスト運動を進めています。そのために「てんた里山基金」を設立しました。里山基金への寄付も受け付けております。お振込は上記へお願いいたします。

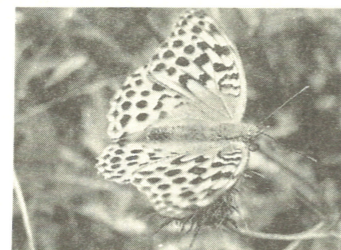


『雑木林会議の舞台』天覧山・多峯主山の自然



10月17日から19日まで、飯能市の駿河台大学キャンパスをメイン会場として、「第16回全国雑木林会議in飯能」が開催されます。この会議が主催する事業の一つとして私たちの天覧山・多峯主山周辺でのエコツアーが予定されています。

天覧山・多峯主山周辺の魅力は、その自然の豊かさにあります。秩父の山々から続く山並みが、関東平野に出会うところに位置し、西から南東に、緩やかに弧を描き伸びる尾根の南側には、入間川に向かって4本の沢が流れ込んでいます。この4本の沢には大小あわせて44の谷があり、それぞれの谷が、地形や土地の利用状況の違いから、微妙に気候条件を変え、多様な自然環境を作り出し、実に多くの種の命を支えているのです。この44の谷を隈なく歩いてみると、昔の耕作あとが見られ、沢の上流部まで丁寧に耕され、田や畑として利用されていたことがわかります。また古い絵図を見てみると薪炭林や茅場として活用されていたことが克明に描かれていました。このように山全体が人々の衣・食・住すべての日常生活に密接に結びついていた様子が伺えます。こうして社寺林、領地として管理、活用されてきたという事情も相俟って、現在に至るまで豊かな自然が保たれてきたのです。



オオウラギンスジヒョウモン ■いろいろな種類のチョウがいるのも、それを支える食草の種類が豊富だから。

バルーン写真 ■天覧山々頂上空からの眺め。鳥たちの目にはこんなに素晴らしい景色が見えるんだ!

バルーン撮影作業



ナンバンギセル ■別名「想い草」、ススキの根元でひっそりと何を思うのか。



キツネ ■センサーカメラの前を駆け抜ける。ウサギを追っているのか?



アキアカネ ■天覧山にはよくトンボ愛好者が訪れる。



サシバ ■アキアカネが真っ赤に成熟するころ、サシバたちは南の国に渡るために、天覧山を通過する。



天覧山山頂 ■秋、タカの渡りの季節には、多くのホークウォッチャーがやってくる。



フユイチゴ ■緑の葉を広げ、赤いフユイチゴの実が、冬の林の中にも、色を添える。

にぎやかなセミたちの声は、いつしか秋の虫の音に変わり、夏の夜、幻想的な光の舞を楽しませてくれていたホタルの里では、これからの季節ナンバンギセルの花がひっそりと咲きます。沢の奥では日毎キツネとウサギの食う食われるの壮絶な営みが続けられ、ワレモコウの揺れる先のアシ原では、カヤネズミたちが繁殖の季節を迎えるのです。里のアキアカネが真っ赤に成熟して空に舞うころになると、冬に向かい南を目指して渡るタカの仲間サシバなどの様子を観察することもできます。

現代の暮らしでは、日常生活での里山と人とのかかわりが希薄になり、天覧山・多峯主山周辺の44の谷のほとんどの場所で人の管理が入らず、倒木が折り重なるように荒れた状態になっています。沢の休耕田では乾燥化が進み、植生の遷移が進みつつあります。こうした中、市民グループによる水辺の再生事業や、山の手入れ、継続的な環境調査も始められています。

四季折々の豊かな自然を味わえる、ここ天覧山・多峯主山 には是非訪れていただき、今回の雑木林会議のテーマ[原点回帰...くらしと森林]について多くの人に考えて欲しいと願っています。

文/黒住浩次(てんたの会員) 写真/大石章、市川和男、調査委員会



天覧山、多峯主山、守る会関連の催しをお知らせするコーナーです。みなさん、ふるってご参加下さい!

11/1日(土)・2(日)
飯能祭り

守る会有志で大通りにあるゼフィルス駐車場でお店を開きます。フリーマーケット用品物の寄贈を募集中です。
★問い合わせ/972-9396(山梨) 977-1890(早瀬)

11/23(日)
「里山復活祭
~谷津田の整備に
汗を流そう!~」

天覧山下の「ほたるの里」の整備を進めます。ふるってご参加ください。作業後にはトン汁や秋の味覚を味わいます。

集合/市民会館北側 中央公園
トイレ付近午前9時
(午後0時半頃解散)
申込/はんのう市民環境会議事務局
(市役所環境緑水課)
042-973-2125
持物/軍手、タオル、飲み物、カマ(持っている方)
参加費/無料
★雨天の場合24日に延期
主催:はんのう市民環境会議
協力:てんたの会

